

松商学園高等学校 学校評価 報告書

2024年度

自己点検・評価報告資料



IR室

評価方法

学校評価アンケート結果（保護者・生徒・教職員）及び授業評価アンケート結果

学校評価の設問

1	教育目標実施	8	進路指導対応	15	担任指導
2	学習習慣指導	9	説明会・懇談	16	コース学年運営
3	授業工夫	10	課外活動	17	教職員の行動・態度
4	授業進み方	11	学校行事	18	保健・安全
5	生活指導	12	家庭連絡	19	入学推奨度
6	問題対応	13	ホームページ		
7	教員相談	14	家庭内会話		

【選択肢】

- ・とても当てはまる
- ・当てはまる
- ・あまり当てはまらない
- ・当てはまらない
- ・わからない

授業評価の設問

生徒自身 についての質問	①【授業マナー】 あなたは、この授業でマナー（私語・いねむりをしない）を守っていますか？ ②【授業参加】 あなたは、自分なりの目標を持って、この授業に積極的に参加していますか？ ③【家庭学習】 あなたは、この授業に必要な家庭学習（予習・復習等）をしていますか？
授業についての質問 （総合評価）	④【話し方】 先生の話し方や説明の仕方はわかりやすいですか？ ⑤【板書等】 先生の黒板・ICTの活用の方法（体育・芸術等は実技指導）は良いと思いますか？ ⑥【要点強調】 先生の授業は、重要なところが強調されていますか？ ⑦【授業難度】 授業の学習内容のレベルは、ちょうど良いと思いますか？ ⑧【授業速度】 授業を進めるスピードは、ちょうど良いと思いますか？ ⑨【理解確認】 先生の授業は、生徒の理解を確かめながら進められていますか？ ⑩【質問発言】 先生は、生徒の質問や発言を促し、ていねいに対応していますか？ ⑪【授業展開】 授業の進め方（組み立て）は、興味関心を引き、学習意欲をわかせると思いますか？ ⑫【教員熱意】 先生の授業に熱意を感じますか？ ⑬【公平対応】 私語などに対して適切な対応が取られ、公平で思いやりのある授業ですか？
授業についての 総合的な質問 （満足度）	⑭【満足度】 この授業は、あなたにとって良い授業だと思いますか？
進路についての質問 （進路アンケート）	あなたは、本校の授業で自分の目指す進学・進路を実現できると思いますか？

総合評価

選択肢

【 1 】 そう思う

【 2 】 どちらかといえばそう思う

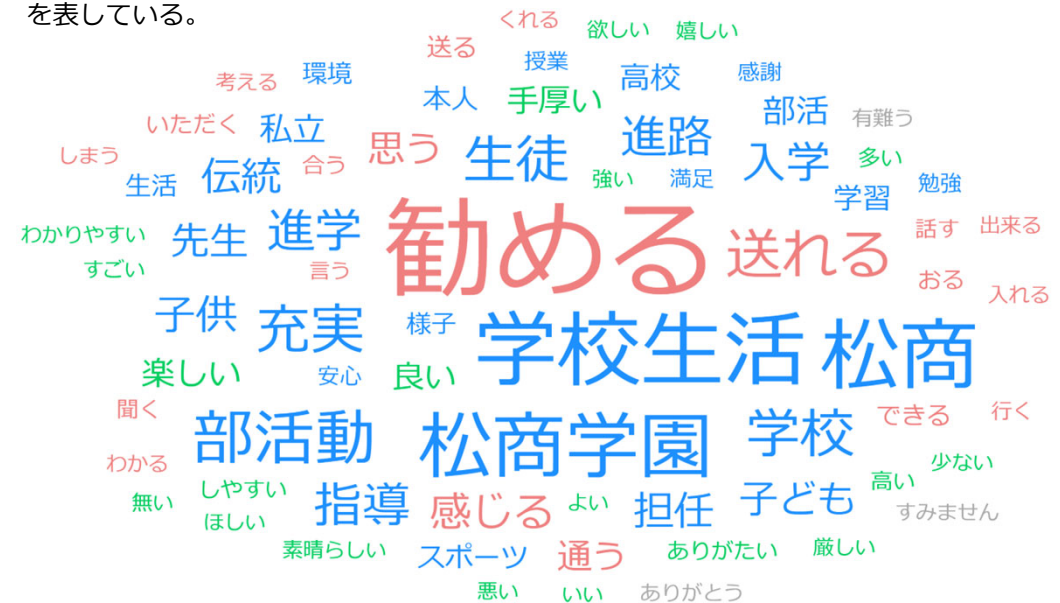
【 3 】 どちらかといえばそう思わない

【 4 】 そう思わない

肯定的評価

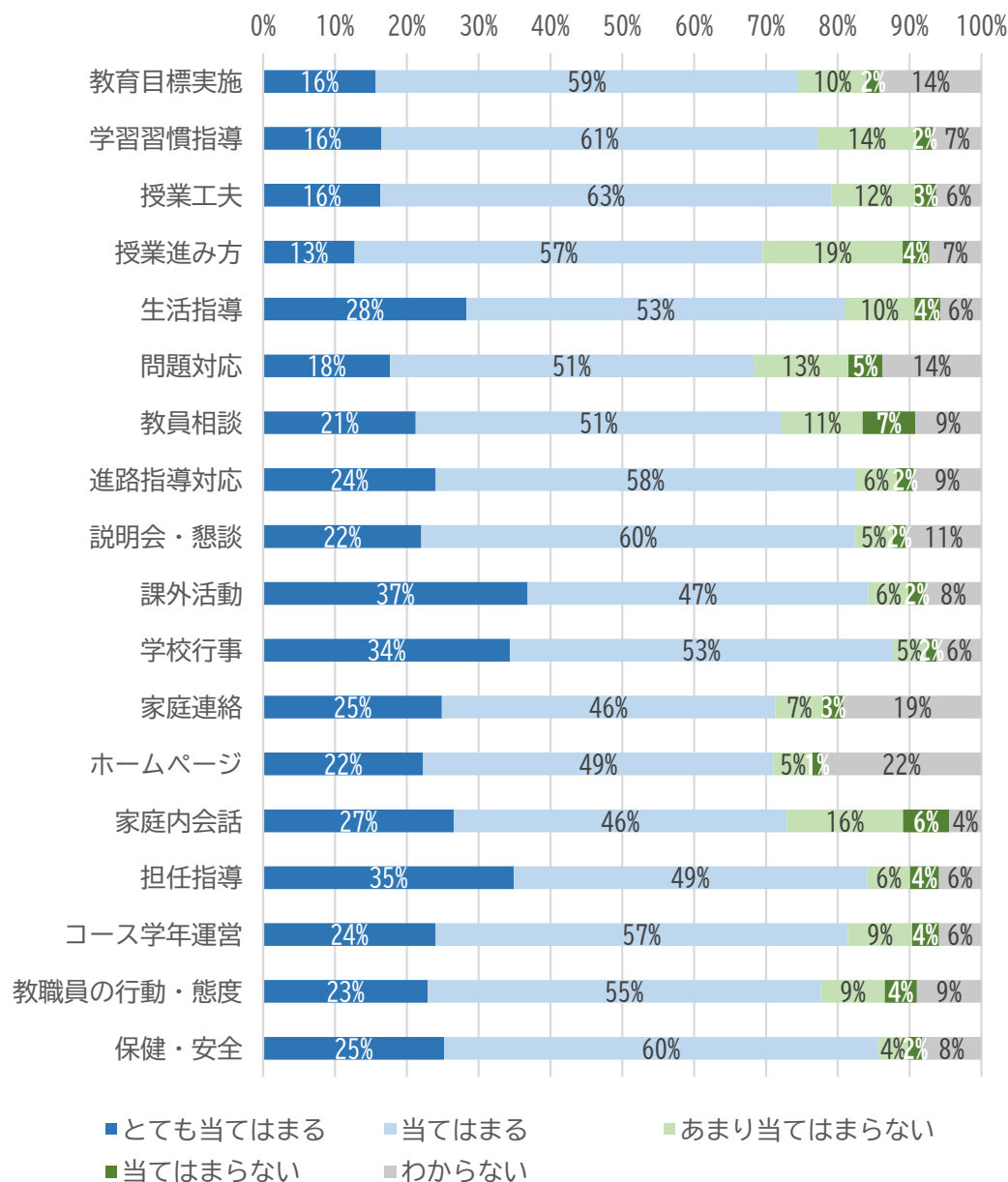
否定的評価

スコア高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示している。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

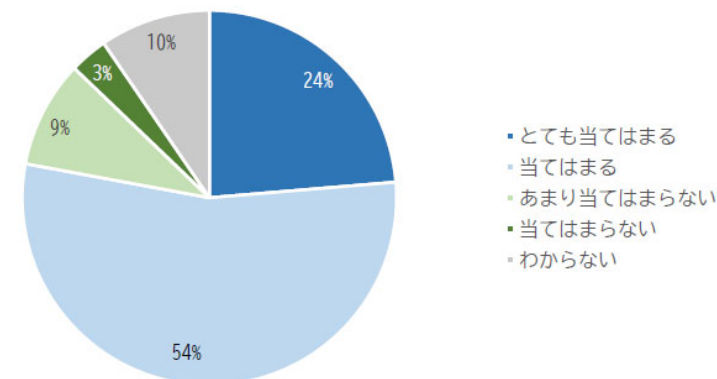


活動名	重要度 (X)	肯定的評価 (%) (Y)
学校行事	0.35	88
担任指導	0.28	82
課外活動	0.34	81
生活指導	0.22	78
保健	0.29	74
安全	0.31	74
説明会・懇談	0.28	76
コース学年運営	0.35	77
家庭連絡	0.21	73
教職員の行動・態度	0.32	75
ホームぺージ	0.29	72
教員相談	0.20	70
進路指導対応	0.30	71
教育目標実施	0.36	70
家庭内会話	0.18	69
学習習慣指導	0.33	64
問題対応	0.27	60
授業工夫	0.25	50
授業進み方	0.21	47

生徒の質問別回答内訳



全質問における回答割合の平均



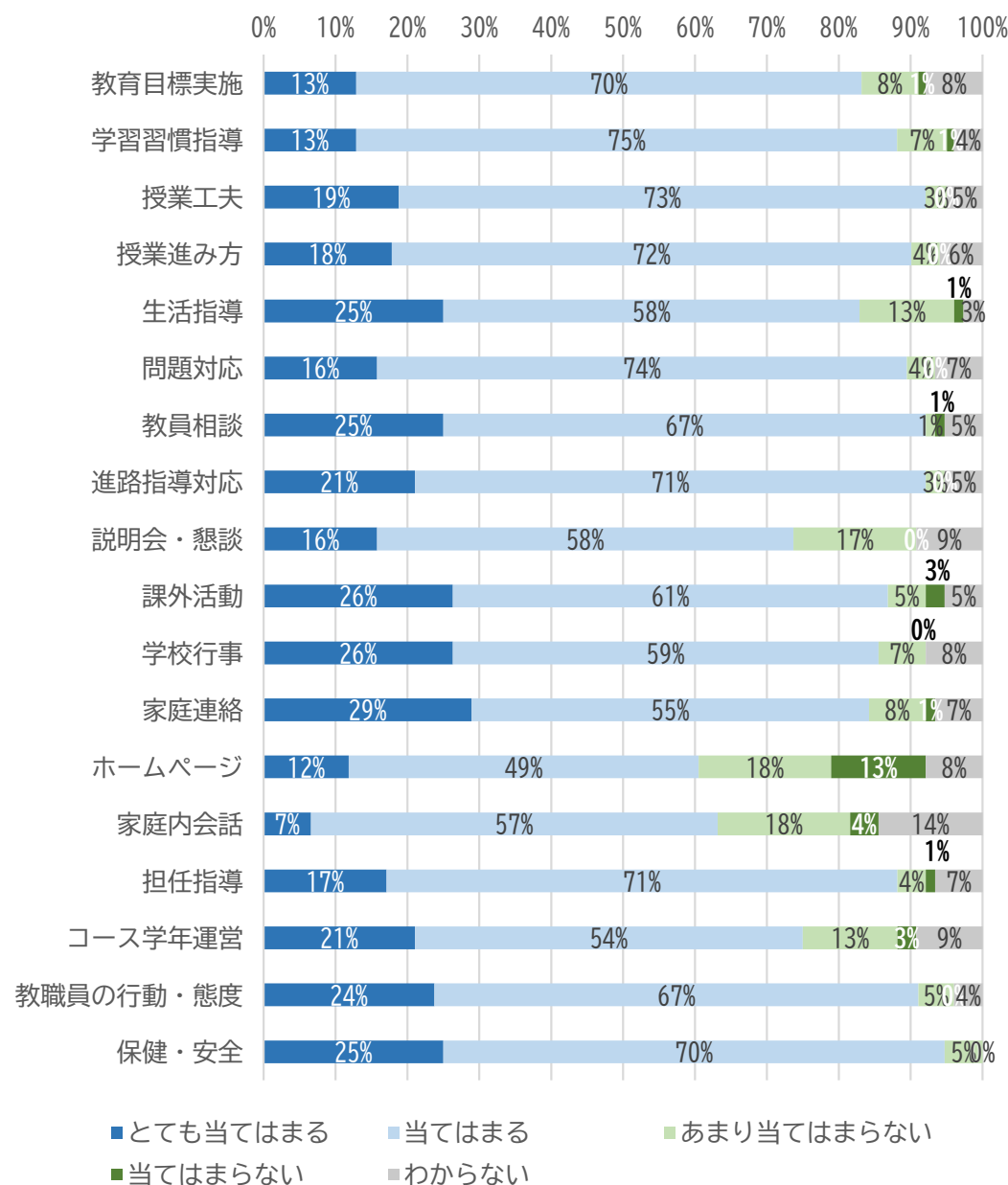
肯定的回答割合の昨年比較

番号	略名	24年度 A	23年度 B	差 A-B
1	教育目標実施	74%	69%	5
2	学習習慣指導	77%	70%	7
3	授業工夫	79%	73%	6
4	授業進み方	70%	65%	5
5	生活指導	81%	79%	2
6	問題対応	68%	63%	5
7	教員相談	72%	67%	5
8	進路指導対応	82%	75%	7
9	説明会・懇談	82%	78%	4
10	課外活動	84%	81%	3
11	学校行事	88%	84%	4
12	家庭連絡	71%	69%	2
13	ホームページ	71%	64%	7
14	家庭内会話	73%	71%	2
15	担任指導	84%	82%	2
16	コース学年運営	81%	75%	6
17	教職員の行動・態度	78%	71%	7
18	保健・安全	86%	81%	5

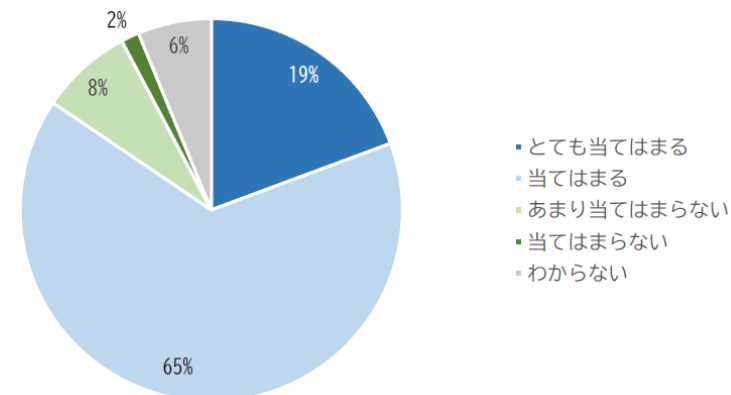
※数値の向上が大きい上位 30%について色付きのセルにて示しています。

I 自己評価－学校評価アンケートの結果（教員）

教員の質問別回答内訳



全質問における回答割合の平均



肯定的回答割合の昨年比較

番号	略名	24 年度 A	23 年度 B	差 A-B
1	教育目標実施	83%	85%	-2
2	学習習慣指導	88%	87%	1
3	授業工夫	92%	94%	-2
4	授業進み方	90%	86%	4
5	生活指導	83%	79%	4
6	問題対応	89%	77%	12
7	教員相談	92%	80%	12
8	進路指導対応	92%	83%	9
9	説明会・懇談	74%	63%	11
10	課外活動	87%	80%	7
11	学校行事	86%	87%	-1
12	家庭連絡	84%	73%	11
13	ホームページ	61%	57%	4
14	家庭内会話	63%	50%	13
15	担任指導	88%	80%	8
16	コース学年運営	75%	64%	11
17	教職員の行動・態度	91%	93%	-2
18	保健・安全	95%	93%	2

※数値の向上が大きい上位 30%について色付きのセルにて示しています。

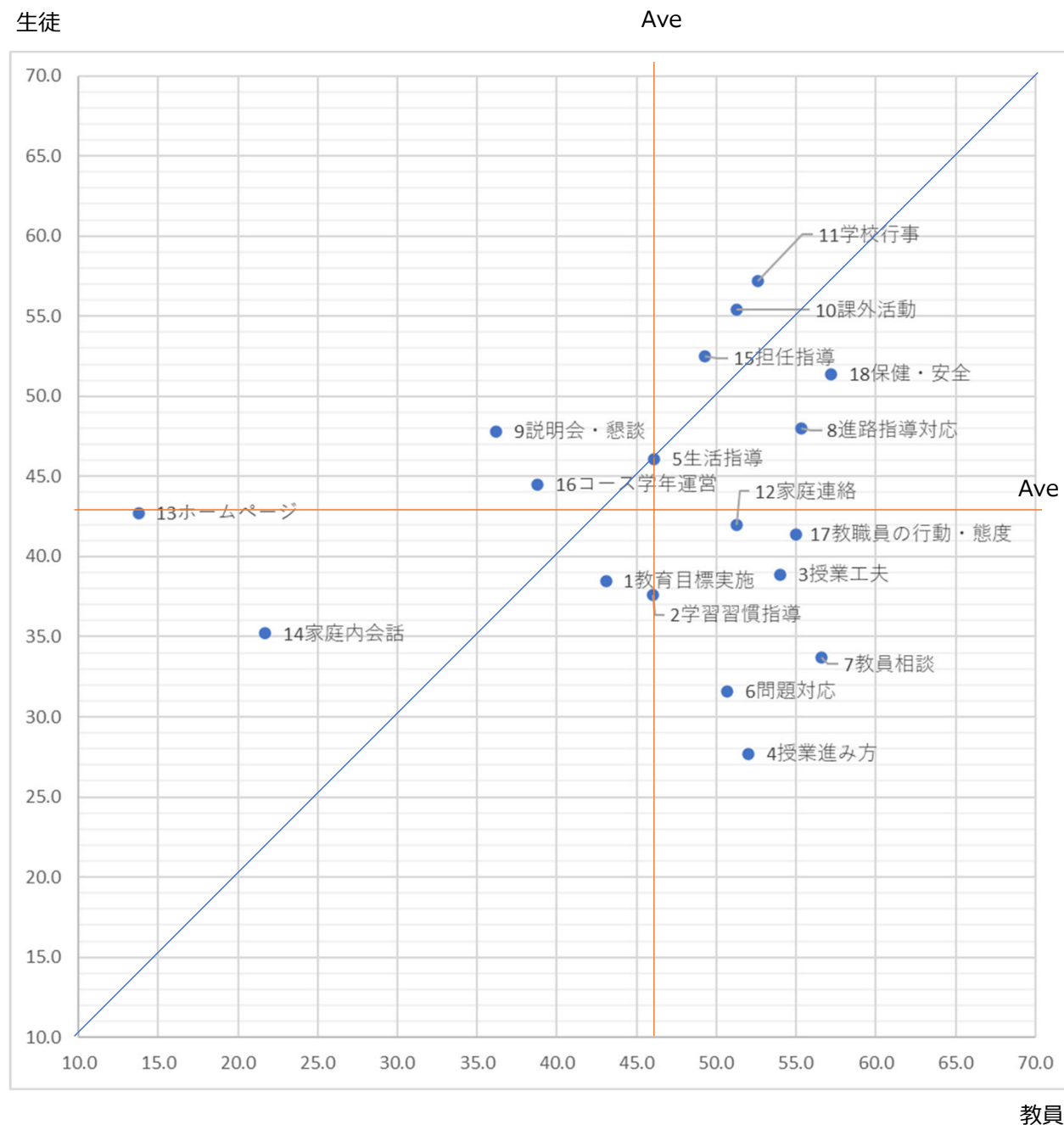
I 自己評価－学校評価アンケートの結果（3者間比較）

回答を重みづけした3者間の比較

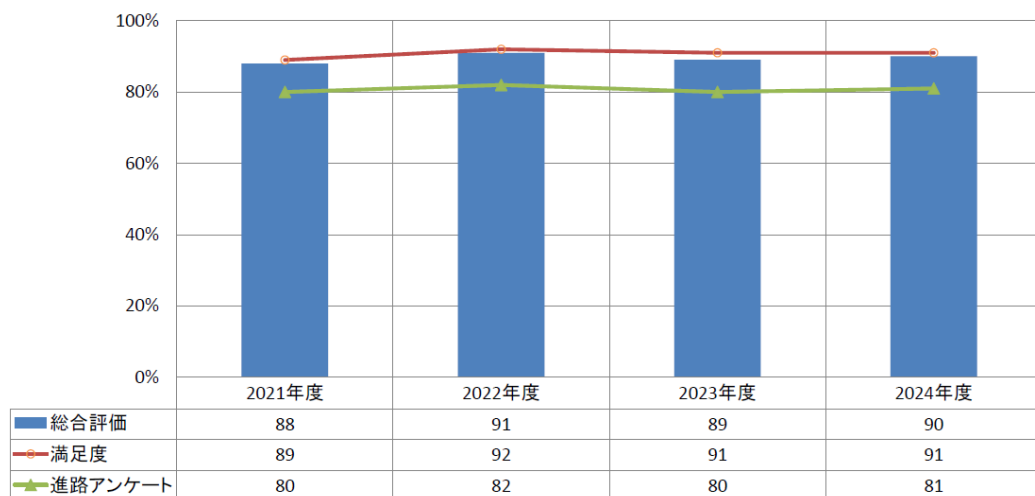
選択肢の回答割合（％）に以下の数値を掛け合わせており、100から-100の範囲で表される。

とても当てはまる	・・・ 1
当てはまる	・・・ 0.5
あまり当てはまらない	・・・ -0.5
当てはまらない	・・・ -1
わからない	・・・ 0

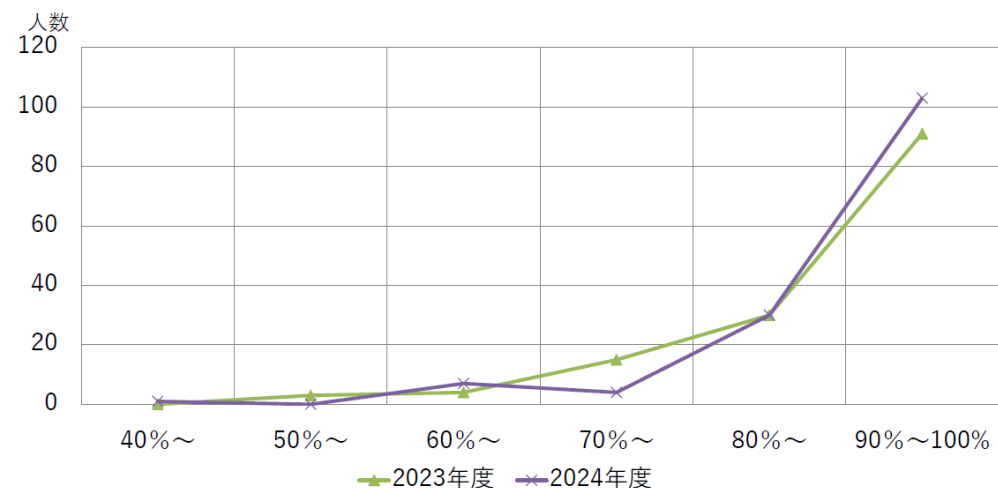
	保護者	生徒	教員
教育目標実施	34.7	38.5	43.1
学習習慣指導	27.2	37.6	46.0
授業工夫	20.5	38.9	54.0
授業進み方	15.9	27.7	52.0
生活指導	37.4	46.1	46.1
問題対応	28.4	31.6	50.7
教員相談	36.0	33.7	56.6
進路指導対応	37.0	48.0	55.3
説明会・懇談	37.9	47.8	36.2
課外活動	47.5	55.4	51.3
学校行事	54.5	57.2	52.6
家庭連絡	39.0	42.0	51.3
ホームページ	37.7	42.7	13.8
家庭内会話	27.8	35.2	21.7
担任指導	51.6	52.5	49.3
コース学年運営	40.8	44.5	38.8
教職員の行動・態度	42.0	41.4	55.0
保健・安全	37.6	51.4	57.2



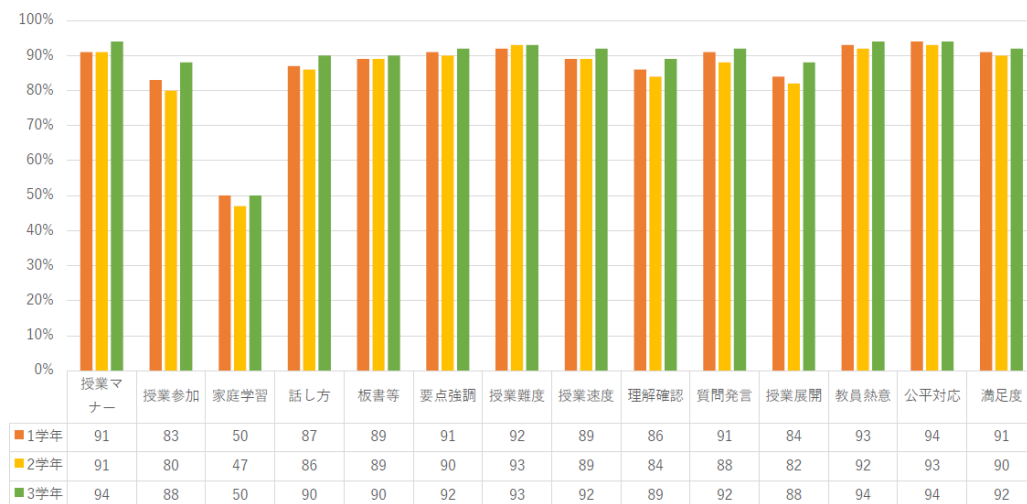
総合評価・満足度・進路アンケートの肯定的回答の割合



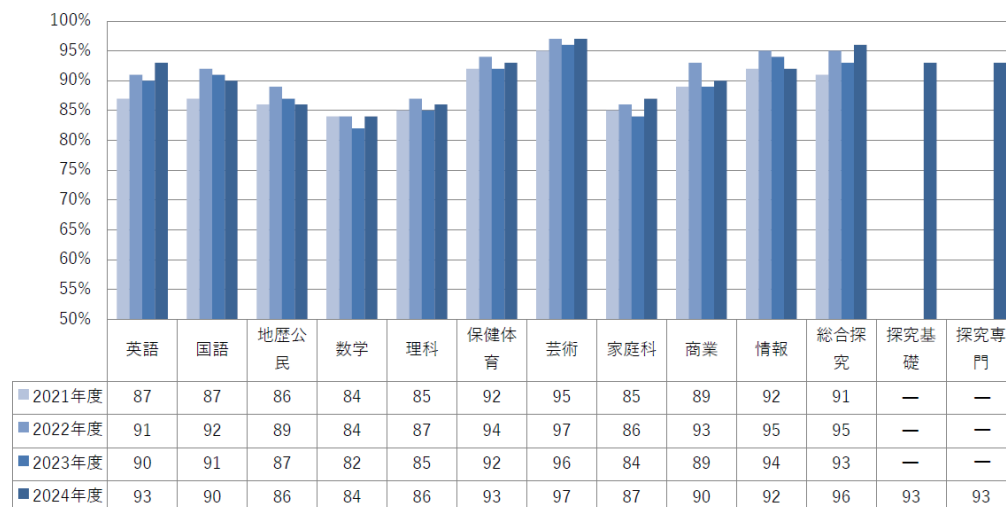
総合評価の肯定的割合（教員分布）



総合評価における質問別肯定的評価の割合

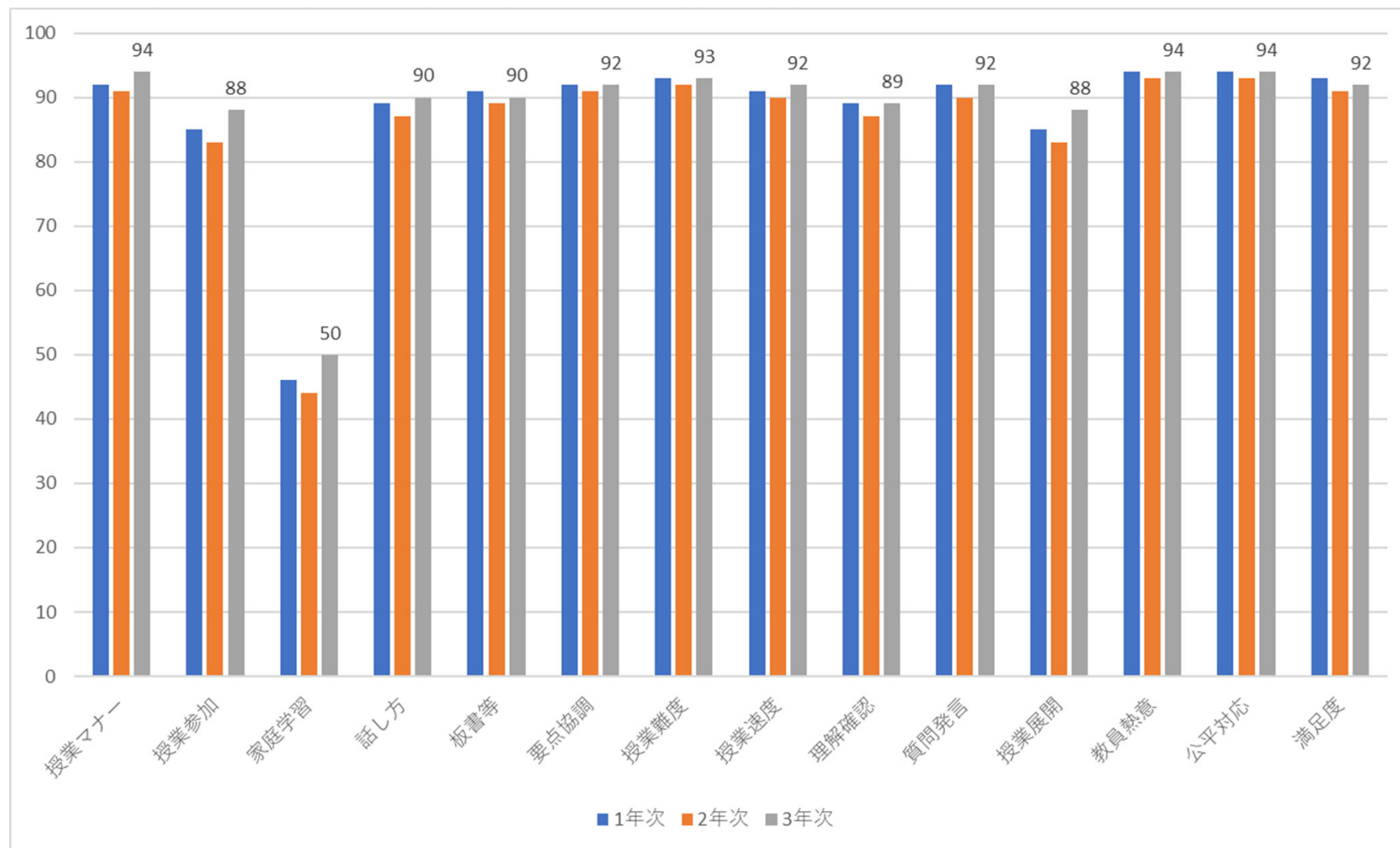


総合評価における教科別肯定的評価の割合



I 自己評価－授業アンケート結果

総合評価における質問別肯定的評価の割合（2022年度入学生の3年間の推移）



	授業マナー	授業参加	家庭学習	話し方	板書等	要点協調	授業難度	授業速度	理解確認	質問発言	授業展開	教員熱意	公平対応	満足度
1年次	92	85	46	89	91	92	93	91	89	92	85	94	94	93
2年次	91	83	44	87	89	91	92	90	87	90	83	93	93	91
3年次	94	88	50	90	90	92	93	92	89	92	88	94	94	92

学校評価について、保護者からの回答では「課外活動」「学校行事」「担任指導」において概ね高い評価を維持できている。一方、「学習習慣指導」「授業の進み方」に対しては否定的な回答割合がやや高く、わからないという回答も35%を超えている。最も否定的な回答が多かったのは昨年同様に「家庭内会話」であった。

家庭内会話が少ない中で、授業に関する情報がポジティブに届きにくいことは推察できるが、学年や担任、進路からのこまめな情報提供を通じて家庭内会話を増やすきっかけを作ること必要だと考えられる。そのためには、教員から家庭に気軽に情報提供できるシステムや環境づくりを整備する必要もある。

入学推奨度はほぼ昨年同様であったが、CS分析において肯定的評価70%未満かつ重要度0.2以上となる5項目について対策を検討する必要がある。

自由記述では、各学年で「充実」「手厚い」「勧める」というワードが多くあり、一定の評価をいただけていると認識している。また、「進路」「部活動」へのコメントも多数あり、文武を両立を希望する保護者の関心の高さが読み取れる。

生徒からの回答では、複数の項目で肯定的回答の割合が増加し、全質問における回答割合の平均では、約76%が肯定的な評価となっており、生徒の満足度は一定程度保たれていると言える。

また、「課外活動」「学校行事」「担任指導」「保健・安全」などで高い評価を維持・発展できしており、「課外活動」「学校行事」「担任指導」については保護者同様に評価が高い結果となった。また、昨年10月にリニューアルした公式ホームページについても肯定的な回答が7ポイント増の71%となった。

一方、昨年同様に「授業進み方」「問題対応」「教員相談」などで肯定的な意見がやや低くなっており、「授業進み方」では否定的な回答が最も多くなっている。昨年からも課題である多様化する生徒ニーズを的確に掴み、個別最適な教育を実現する取り組みが更に必要となっていると言える。

教員の自己評価回答では、全質問における回答割合の平均では、昨年を上回る約84%が肯定的な自己評価となっており、高い自己評価が保たれている。「授業工夫」「教職員の行動・態度」「保健・安全」は以前から意識的に取り組んだ教員が多く、「問題対応」「教員相談」「家庭連絡」などでは昨対比10ポイント以上増加し自己評価をとった。

一方、「授業の進み方」「問題対応」「教員相談」では教員の自己評価は高いが、生徒とのギャップが生じている項目である。課題を理解し、取り組む教員が増加しているため、生徒や保護者に寄り添った授業運営、クラス運営を丁寧に行っていく必要がある。また、情報発信や生徒の家庭でのコミュニケーションでは十分に行えていない教員も多くおり、システムの、組織的な改善を図ることも検討する必要がある。

これら3者の回答を比較すると、「担任指導」「ホームページ」「コース学年運営」「家庭内会話」では教員自身の認識よりも保護者・生徒が高く評価している。一方、「学習習慣指導」「授業工夫」「授業進み方」「問題対応」「教員相談」等では教員の自己評価より保護者・生徒の評価が低い結果となった。アンケート結果を踏まえ、把握した生徒・保護者のニーズを適切に改善していくプロセスを重視する改善活動を組織的に位置付けて実施していきたい。

授業評価アンケートからは、全体として、昨年度と比較して肯定的な回答割合が微増した項目が目立った。全体的に高い評価を維持できていると言える。2025年3月卒業する生徒の3年間の評価を比較しても、概ね評価が高まっていることもわかった。教職員の授業に対する創意工夫が少しずつ生徒へも届いていると考えることができる。今年度は90%以上の肯定的な回答を得た教員数が過去4年間で最多となるなど、その成果は確実に始めている。

質問別でみると、「話し方」「理解確認」「授業展開」の評価と満足度は中程度の相関関係にあり、生徒の満足につながりやすいことが推察できる。また、生徒の授業参加意欲において毎年課題となっている「家庭学習」においても4年連続で増加し、肯定的な回答割合が約50%となった。

教科別にみると、理数教科や家庭科はそれ以外の教科と比べてやや評価が低く、特に理数教科については入学当初からの苦手意識が影響している可能性を示唆している。しかし、2024年度に新規に指定されたスーパーサイエンスハイスクール事業も影響しているのか、理科、数学、探究、英語の肯定的評価割合は増加している。学校全体が理数探究へのマインドセットが醸成され始めていると捉え、引き続きスーパーサイエンスハイスクール事業の計画通り実行し、教科横断の取り組みを実現していく予定である。

今後は更に個別最適な学習を実現するためにも、引き続き教員によるフィードバックに重きを置きながら、生徒の満足度を向上できるよう学習成果を最大限発揮できる授業を各教科および教務部主導で推し進めていく。

松商学園では、第2次中期計画（2021-2025）に基づき全国に先駆けてIR室を設け、高校IR（Institutional Research）に取り組んでいる。その取り組みはスーパーサイエンスハイスクール事業採択においても高く評価され、教育や学校経営に係る各種データの収集・分析を恒常的に行うことにより、エビデンスベースの戦略策定に資する情報を提供している。学校評価の結果を踏まえて、単に分析で留まらず、各部局と有機的に連携し、授業改善やカリキュラムマネジメントにも積極的に情報を活用し、持続可能な学校改革を実現していくことで、この超少子化時代を先導していく学校を目指す。

【学校関係者及び外部の評価委員からの意見抜粋】

- ・実施されている学校評価アンケートや授業評価アンケートの回答率が高く、また満足度も高いことが評価できる。
- ・現在の義務教育の課題として不登校生徒が増えている。通信制課程の設置は地域のニーズにも沿っていると言え、取り組みを評価している。
- ・スーパーサイエンスハイスクール事業の採択や通信制課程設置など時代のニーズに沿った新たな取り組みがなされており、評価できる。
- ・学校教職員の働き方やエンゲージメントの在り方が重要となっている。人材不足や物価高騰など環境変化が激しい中、エンゲージメントの調査を行っていただきたい。
- ・組織や集団に合わない生徒について、学校として社会としてどう受け入れていくかを考えたとき、理想の大人を作る時代から、個別最適化された多様な学校があってもよい時代となっている。これからも時代の要請に一つひとつ応えていっていただきたい。
- ・学校評価や授業評価に加えて、独自のアンケートなどを活用し、他校よりも詳細な分析がなされている。
- ・学校評価アンケートにおける評価の高さから、充実した学校運営の様子が伺える。
- ・社会全体の問題でもあるが、SNS活用のモラルやメディアリテラシーなどに対して、どういう教育が必要か研究を進めていただきたい。
- ・通信制課程の運営では個別対応や切れ間のない志願があり、運営の負担も大きいですが、地域のニーズでもあるので期待したい。
- ・進路実績が期待以上に積み上げられており、評価できる。
- ・現在大学受験では年内入試が主流となっている中で、小論文対策やエントリーシート作成指導など手間がかかる指導について、更に指導の質を高めるため、教員向けの研修を充実させていただきたい。
- ・アンケート結果について、保護者の立場として自身も回答したが、手厚い進路指導を受けたと感じている。周りの保護者とも話すが、進路、部活などは高い評価であると感じる。
- ・高校無償化後もさらに多くの生徒が目指す学校を目指して、引き続き松商学園の良さを作っていただきたい。
- ・闇バイトなどSNSを通じた被害が後を絶たない。スマホ被害から子供を守っていく教育や指導をお願いしたい。
- ・登下校中の不審者事案が発生しており、生徒への呼びかけおよび警察と連携した警戒をお願いしたい。



発行者：学校法人松商学園 松商学園高等学校 IR室
発行日：2025年3月31日